

令和8年度 学校経営方針

亀山市立中部中学校

1 コミュニティ・スクールとしての基本理念（学校教育目標）

『主体的に学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ～“深く学び合う”場の創造を目指して』

※校訓：「友 根 謝」（友情・根性・感謝）

2 めざす学校像

- お互いの違いを認め合い、つながり合って生き生きと活動できる学校
- 主体的で対話的な深い学びが実感できる学校
- 教室が居心地の良い場所となる学校
- 保護者や地域の人々と連携協働し、ともに歩む学校
- 「命」を大切にし、生徒と向き合った温かい指導ができる学校

3 めざす学校像実現に向けた重点目標

- (1) 「確かな学力」の向上と定着のため、主体的で対話的に深く学び合う授業づくりを進めます
- (2) 互いに認め合う人権感覚豊かな生徒を育てる教育実践を進めます
- (3) キャリア教育の充実による一人一人の自己実現に向けた教育活動を進めます
- (4) 生徒の主体的な活動を大切にした取組を進めます
- (5) 生徒・保護者・地域の人々の期待に応える学校づくりを進めます

4 めざす生徒像

- 自分や相手の思いを大切にする生徒
- 意欲を持って主体的に行動する生徒
- 夢や希望をかなえるために自ら進んで学ぶ生徒
- 地域の活動に積極的に取り組む生徒
- 心身ともに健康で「命」を大切にする生徒

5 めざす教職員像

- 生徒一人ひとりに応じた支援と指導ができる教職員
- 指導力の向上に努めるとともに、魅力ある教育活動を積極的に創造する教職員
- 互いに高め合い学び合う協働的な同僚性を大切にする教職員
- 保護者や地域の思いや願いに寄り添い支える教職
- 心身ともに健康で「命」を大切にする教職員

6 行動計画

- (1) 「確かな学力」の向上と定着のため、主体的で対話的に深く学び合う授業づくりを進めます
 - ①朝の読書（学習）やキュービナ等を活用した学習等、基礎学力定着のための取組を実施します
 - ②学力テスト等の分析結果を授業改善につなげます。
 - ③授業の導入の工夫や「めあて」設定の工夫を行い、生徒が主体的に授業に参加する工夫を行います。
 - ④ICT機器の活用や学習班活用による学習指導の工夫により授業方法の改善を図ります
 - ⑤「ワークタイム」を実施し、家庭学習の充実をはかります。
 - (2) 互いに認め合う人権感覚豊かな生徒を育てる教育実践を進めます
 - ①「こころの教育」を推進し生徒理解に努めるとともに、生徒支援体制の充実を図ります
 - ②人権サークル「スマイルクローバー」の活動について、一層の活性化と取組の全校発信を図ります
 - ③フレンドタイム等の取組を継続し仲間づくりを進め、人権フォーラムや「いのちの授業」に取り組みます
 - ④生徒の個性を尊重しインクルーシブ教育の視点に立った特別支援教育の充実を図ります
 - (3) キャリア教育の充実による一人一人の自己実現に向けた教育活動を進めます
 - ①キャリア教育推進の観点から、教科横断的な視点でカリキュラム・マネジメントの実現に取り組みます
 - ②全ての教育活動を通じて、「読む（読み取る）・書く・聴く・話す力」を育むための取組を進めます
 - ③中部中版キャリア教育の形を具現化し人間形成を意識した社会に開かれた教育課程の実現を目指します
 - (4) 生徒の自主的な活動を大切にした取組を進めます
 - ①生徒会活動の充実を図ります
 - ②福祉活動やボランティア活動に取り組みます
 - ③「中部チューリップラン」をはじめとして、校内美化や校内環境整備に取り組みます
 - (5) 生徒・保護者・地域の人々の期待に応える学校づくりを進めます
 - ①コミュニティ・スクールを核として、学校・保護者・地域が一体となった教育活動を推進します
 - ②授業や行事等を保護者や地域に対し積極的に公開します
 - ③コミュニティ・スクール、学校、学年、学級だよりの発行とHPの更新を随時行います
 - ④地域の活動や行事に教職員や生徒が積極的に参加します
 - ⑤学校ボランティア等の活動を活性化させます
 - ⑥教職員の業務改革（業務精選、業務軽減、業務改善、協働）を推進するとともに、やりがいを持って働ける職場環境づくりを進めます
- ※一人当たりの月平均時間外労働
年 360 時間を超える時間外労働者数
月 45 時間を超える時間外労働者数

目標値：前年度比 2 時間減
目標値：前年度比 20%減
目標値：前年度比 10%減

R6：34.7 時間
R6：29 人
R6：100 人

R7：32.8 時間
R7：40 人 (12 月末)
R7：92 人 (12 月末)